

2022（令和4）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------------|------------------------------------|----------------|---------------------|
| 事業所番号 | 1495000174 | 事業の開始年月日 | 平成22年8月1日 |
| | | 指定年月日 | 令和4年8月1日 |
| 法人名 | 医療法人啓和会 | | |
| 事業所名 | 医療法人啓和会 グループホーム京町 | | |
| 所在地 | (210-0848) 神奈川県川崎市川崎区京町3-32-1 | | |
| サービス種別 定員等 | ■ 認知症対応型共同生活介護 | 定員計 | 18名 ユニット数 2 ユニット |
| 自己評価作成日 | 令和4年8月16日 | 評価結果 市町村受理日 | 令和4年11月24日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

運営が医療法人の為、24時間訪問看護を受け入れして、急変時には利用者様の状況に応じ、対応しています。内科の往診があり、胃カメラにて変化を見逃さぬよう、日々利用者様に対応しています。地域とつながりながら暮らし続けられるよう、町内会に加入し、月一度の集まりや盆踊り・区役所、消防署、町内会の人との自主防災訓練炊き出し・食事会・廃品回収、公園掃除等、町内の役員もやらせていただいておりますが、今年はどの行事も新型コロナウイルスのため交流は避け、必要な時は廃品回収・公園掃除以外、電話にて対応させていただいております。ボランティアでは、フラダンス・音楽、また、近くの保育園より招待を受け、子供達との交流を行っています。マッサージ師による訪問マッサージ、アニマルセラピーで猫を2匹飼って利用者様と仲良く生活しております。また、月一度、ホームでの生活状態を写真付のお便りや担当者よりお手紙を送付しています。家族会では夏の納涼祭、クリスマス会を行ない、質問や要望の話す機会を持ち、その後は家族との思い出作りをしていましたが、現在は新型コロナウイルスのため行われていません。

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|---------------|------------|
| 評価機関名 | 株式会社フィールズ | | |
| 所在地 | 251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 令和4年9月29日 | 評価機関 評価決定日 | 令和4年11月10日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はJR「川崎」駅東口から京町循環バスで20分位のバス停「浅田3丁目」下車3分位に位置します。周囲は公園や緑道がある閑静な住宅街にあります。敷地内には経営母体である医療法人の療養型デイサービスと訪問看護ステーションがあります。

<優れている点>

認知症が比較的軽度な時から入居を勧め、共同生活を送る中から在宅復帰が可能な方には自宅に戻れるように支援をしています。在宅復帰が困難な人及び認知症が中等度な人は、認知症の進行を抑えるため、運動・食事・レクリエーション・散歩・買い物などの外出で、社会との接点を持てるよう支援しています。町内会と交流を持ち「縁側」という集まりにも参加しています。自治会の公園の清掃や1年に1度、自主防災訓練を消防署・川崎区役所・地域包括支援センター・町内会の協力を得て、炊き出しなども行っています。地域住民に向けて、炊き出しや介護食、ペースト食の試食を行うなど災害時における対応を発信しています。なお、新型コロナウイルス感染症の蔓延でほとんどの行事が自粛中となり、再開が待ち遠しいです。

<工夫点>

運営に関する職員の提案や意見を会議や個人面談で聞いています。出された提案は「今月の目標」として事務所に掲示し朝のミーティングで唱和しています。職員は自分たちの提案が活かされことにより働く意欲や向上心、質の向上につながっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 10 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 11 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 12 ~ 16 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 17 ~ 23 |
| V アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|-------------------|
| 事業所名 | 医療法人啓和会 グループホーム京町 |
| ユニット名 | すずらん（1F） |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|--|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| I 理念に基づく運営 | | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 法人の理念に基づき行なっています。理念は各階の入口に提示し、また毎月のミーティングでも確認し、周知徹底を図っています。職員は利用者の尊厳のある日常生活保持するため、言葉づかいに注意をはらっています。 | 法人理念に基づいて事業所理念「尊厳ある日常生活を保持し、良質で総合的なサービスと地域貢献をめざす」を各階の入り口に掲示しています。日々、利用者の誇りを損ねない言葉かけや意向を尊重し、毎月のミーティングで確認をしています。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 町内会に加入し、コロナ発生前は月一度の町内行事や夏祭りの神輿、自主防災訓練、食事会、盆踊り、保育園の子供達との交流を行なっていました。町内会の廃品回収、公園掃除は毎月行っています。また、管理者は町内の役員をやらせていただき、情報交換をしています。 | 町内会に加入しています。管理者は町内会の保健福祉を担当し、地域の人々と広範に情報交換をしています。コロナウイルス感染拡大防止のため様々な行事が中止となっている中でも地域の一員として、公園の掃除は毎月行っています。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | コロナ発生前は、利用者様より食べたい物の注文を聞き、スーパーに買い物に出掛けたり、月一度町内会館にて集まりの時、利用者様と一緒にうかがい、準備をしたり、片づけ等に参加したりしていました。 | | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | コロナ発生前は、2ヶ月に一度の運営推進委員会は、町内会長、常任理事、民生委員、家族の代表、包括支援センターの方より意見やアドバイスをいただき、地域の様子を知る機会となっていました。町内会の人が行事等何か変後がでた時はポストに書類等届けて下さいます。 | 運営推進会議は町内会役員、地域包括支援センター、家族などの参加を得て2ヶ月に1回開催しています。事業所の取り組みや課題などを報告し、情報交換を行っています。コロナ禍の現在は対面での会議は中止しています。 | 運営推進会議録を作成されていますが、現在の会議録に加えて現利用者数、性別、介護度、年齢などの利用者情報の報告や、活動報告の記載が期待されます。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 川崎市高齢者支援課、地域包括支援センターに相談しています。また、社会福祉協議会の傾聴ボランティアさんが利用者さんの話し相手や相談ののってくれていましたが、新型コロナの関係で今は出来ていません。自主防災訓練の時、町内会・区役所の参加、町内会の皆様による誘導、炊き出し等行なっていました。 | 川崎市高齢支援課、地域包括支援センターと介護認定更新など介護保険関連の相談をしています。川崎市や川崎区からのメールでコロナ関連の情報が入ってきています。事業所にPCR検査や抗原検査キットの無料配布がありました。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。 | 契約書に身体拘束を行わないことを明記し、日中玄関の入口は施錠せず、「身体拘束排除宣言」を玄関と居間に提示しています。職員は身体拘束の弊害と如何にして拘束のない支援を提供するか職員間で検討しています。やむえず拘束の時は家族と相談、捺印をいただき介護記録に記入する。ユニット入口については止むえない時は、家族の了解を得て施錠しています。また、身体拘束などの勉強会を行い、社内にて勉強をしています。 | 「身体拘束適正化の指針」「身体拘束排除マニュアル」を整備しています。身体拘束廃止委員会を開催しています。職員研修の中で身体拘束にあたる具体的な行為や身体拘束の弊害等について正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。 | |
| 7 | 6 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 個々の職員の意見を把握し、ケアカンファレンスにて情報交換を行ない、入浴時に体のチェックをしています。 | 毎月のミーティングで職員が気になっている事項を共有しています。不適切なケアになっていないか、情報共有を行い、早期発見に努めています。管理者は職員の日常の様子や個人面談から虐待の原因ともなる職員の疲労やストレスの発生予防にも努めています。 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 弁護士や成年後見人に相談して情報提供、協力や説明をお願いしています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約時・解約時または問題発生時には、御家族様と面談の上、十分な説明を行なっています。 | | |
| 10 | 7 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 玄関入口に意見箱を設置し、訪問時に直接お話しを聞いて解決を図っています。また、納涼祭、クリスマス会に合わせて家族会を開催し、利用者や家族からの意向や要望を聞いています。他に衣類や寝具の切り替え時など、家族の訪問時の話し合いもサービス向上に反映しています。家族会の時に意見を出す機会を設けています。今はコロナの関係で行事等は出来ていません。 | 家族との面会時に利用者個々の様子や実情を細かく説明をして、家族の意見や要望を聞いています。猫を飼いたいという利用者の声から他利用者の意見や理事長の意向を参考に猫2匹を飼育しています。アニマルセラピーにより利用者の癒しに繋げています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 8 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 職員が意見を発言できる機会や個人面談にて話を聞く場所を設けています。月1回のミーティングで業務運営の意見交換をし、毎日朝9時からフロアごとにミニミーティングを開催して引き継ぎを行なっています。この会議の最後にユニットごとに職員が提案した“今月の目標”を全員で唱和して確認し、実践に繋げています。 | 職員の意見は個人面談や毎月のミーティングで聞いています。「声かけをしてから介助を始めよう」など職員全員が標語を考え、順番に発表しています。その標語を「今月の目標」として朝の引き継ぎの後に全員で唱和し介護の質の向上に繋げています。 | |
| 12 | 9 | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 介護職員処遇改善計画書を掲示し、研修の勉強会への紹介を進めています。また、職員資格取得のため、勉強会等の支援を行なっています。 | 個人面談を年に2回ほど行い、人間関係や健康状態、職場環境などの悩みの把握をしています。年に2回人事考課を行い、職員が向上心を持って働けるように考慮しています。就業規則は誰でも閲覧可能となっています。 | |
| 13 | 10 | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 回覧にて講習会への参加、職場での勉強会、他グループホームへの研修を促し、体験出来るよう進めています。 | 新入社員向けの新入職者研修を開催しています。リーダー職員によるOJT研修も行っています。充実した資格取得のための内部研修となっています。職員、パート職員誰でも希望すれば外部・内部研修を受けることができます。 | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 他のグループホームやデイサービスの力を借り、初詣やレストランの食事会、遠足の遠足会に出掛けたり、協力をお願いし、力を借りていますが、今、コロナの関係で外出等が出来ていません。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 本人からの訴え、御家族様の希望を傾聴し、安心して生活出来るよう努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 利用者様・御家族様にも、何事も話しやすい雰囲気づくりをしています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 総合的な面で必要と思われた時、他のサービスの紹介・相談に乗っています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 利用者様に人生の先輩の言葉として、分からないことを教えてもらい、良きパートナーとして意識しています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 月一度の写真入りの手紙にて、利用者様の様子をお知らせしています。御家族と交えて行う納涼祭・クリスマス会にて、職員と御家族様との交流をはかり、一緒に劇をしたり、また、お手伝いも進んで協力していただいています。年末のクリスマス会は1年の利用者様の様子をビデオで日頃の様子を見ていただいています。このような行いですが、現在は新型コロナウイルスの関係で滞っています。面会も窓を境にして、お互いに元気な顔を見て安心しております。 | | |
| 20 | 11 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 新型コロナウイルスの関係で外出もままならず、御家族様や友人からのお手紙で絆をつないでもらっています。ホーム入居後、時間の経過とともに徐々に馴染みの関係が少なくなっています。年賀状も受け取り、返事は家族に任せて対応してもらおうなど継続努めています。 | 入居後徐々に馴染みの関係が薄くなってきていますが、手紙や電話の取り継ぎで関係継続の支援をしています。事業所は町内会の行事の参加や近隣保育所の交流などで社会との交流を深めています。新しく馴染みの関係ができつつありましたがコロナ禍の今は自粛しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | フロアでは、気の合う人と同じテーブルに座ってもらい、また、孤立しないよう席替えをしたり、昼食も各テーブルに職員が入り、同じ物を食べ、趣味や料理を通して話しが出来るよう、小グループ等レクリエーションをしています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 入院によって契約終了後も連絡を取り、お変わりないか様子を伺っています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 12 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 担当スタッフは強い絆が出来ているため、ご本人の意見や訴えをミーティング等で話し合い、情報を共有しています。利用者ごとに担当者を決めています。担当者は本人との会話から、本人の個性や思い、願望などを聞き出すよう心掛けています。その内容はミーティングで話し合い、他の職員の意見も聞いて共有し、家族にもお便りの手紙等で状況を報告しています。 | 一対一の絆で沢山の関わりを持ち会話を重ねて行けるように利用者ごとに担当者を決めています。本人の立場に立ってどういう暮らし方をしたいか、などの意向を把握をしています。得られた気づきはミーティングで共有し家族に伝えた上でケアプランに反映しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご本人や御家族様により、書面にて好みやつちかったさまざまな生活歴を聞き、談笑中に出た言葉や習慣を継続出来るようにしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する | ご本人一人ひとりの体調、精神面を把握して、出来ることに注目し、その人に合った生活をできるようにしております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 13 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 医療関係や御家族様の要望を聞き、ミーティングなどで御利用者様の変化があった時は、スタッフの情報を介護計画の作成や見直しに取り入れています。毎朝、ミニミーティングをしているため、その場で話をして解決できる時は早めに動いている。 | 利用者、家族の意向を汲み取り、よりよく暮らすためのケアのあり方について、全職員でカンファレンスを行っています。看護師、医師の意見を参考にケアプランを作成しています。短期を3ヶ月、長期を6ヶ月、状態に変化があった場合は都度見直しをしています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | バイタル、服薬、食事や水分量、特変など、夜間と昼間との介護記録を色にて区別し、分かりやすい言葉の記録で、面会時介護記録を御家族に見てもらい、介護記録の見直しに活かしています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 個々の支援で訪問マッサージ、訪問歯科、救急、通院対応を行なっています。外出での買い物は、新型コロナウイルスの関係で現在出来ていません。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 区役所・消防署・町内会・包括支援センターとともに自主防災訓練や炊き出し、月一度の町内会館での行事、食事会、地域のボランティアが継続的に来てくれています。 | | |
| 30 | 14 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 24時間医療機関の看護師に相談指示や訪問を受け、利用者様の急変時に対応してもらい、また、ほぼ毎日、午前または午後の往診があり、体調の変化もスムーズに行われ、協力医には診断書・紹介状等で協力をお願いしています。 | 医療系法人の整形外科、歯科、内科の特徴を生かしています。関係病院の協力も得て担当医の予定表を作成し、十分な支援体制ができています。緊急時には深夜でも看護師に相談でき、対応が図られ安心したケアとなっています。隣接の法人ステーションの訪問看護師が日常の健康管理を行っています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | ご本人様の状態に応じて、担当医・看護師に直接相談、24時間オンコールによって、看護師の訪問、医師に連絡をつけることが出来ます。週1回全員訪問看護を受け、介護では出来ない体調の変化を対応・処置等を行っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先の看護師また相談室と情報交換を行ない、早期の退院に向けて相談をしています。 | | |
| 33 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 重症化や終末期については、施設で出来る限りの生活を調整し、医師・看護師・職員・御家族様と話し合い、対応しています。看取りに関する指針を重要事項説明書に明記し、入居時に説明しています。終末期にはターミナルケアの支援方法など話し合いをしています。 | 看取りを実施しており、医師、看護師が確認して家族の意向に備えます。非常時の病院搬送、病院から本人家族の希望で事業所で過ごせる支援も行っています。人生の最期は、食事や日々の過ごし方を重要視しています。家族はコロナ禍でも、安全を確認して最後まで一緒に過ごせます。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 緊急時、急変の連絡体制は、一目でわかるよう掲示して、職員は理解しています。AEDを施設に置き、対応できるようにしている。 | | |
| 35 | 16 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 避難訓練は昼間・夜間の状態を作り出し、消防署の立会にて指導と訓練を行っています。また、地域防災にも参加協力し、運営推進委員会に議題として提出しています。天災の時は地域の皆様で体の不自由な人は一時的避難場として受け入れ、地域包括支援センターに連絡するようになっています。非常時のペースト食の試食も行なっています。 | コロナ禍でも年2回で避難訓練を実施しています。避難誘導は、混乱が起きないように1階は裏口から、2階は屋内階段を利用して玄関から避難します。消火訓練もしています。自治会との連携により、地域の避難者を受け入れの施設となっています。多摩川の氾濫では2階に逃げることにしています。パックの非常食と飲料水を食糧備蓄しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 17 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 利用者様の人格の尊重やプライバシーを損ねない言葉づかい対応を行なっています。個人情報等書類は鍵のかかる書庫に保管しています。居室担当者を中心に利用者の個性を把握し、言葉づかいやさりげない介助に努めています。 | 利用者への人格尊重は、一人ひとりとの傾聴と意見交換に心がけています。本人の意見を受け入れ、会話のやり取りの中で納得に繋げることに留意しています。「声かけをしてから介助を始めよう」のスローガンは職員の提案です。外部評価調査実施時にも全員から見学可否確認をしています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 声掛けのあいさつから始まり、本人の性格などを考え、話しやすい環境をつくり出し、今本人が何を希望しているのか傾聴して行動しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 朝の体操の時に、回想法にて話し掛け、食事は何を食べたいかメニューを聞いたり、その日の体調を見ながら、入浴の順番を変えたり、希望を聞いています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 月1度～2度の訪問理美容を利用してカットを行なっています。コロナの関係で今は出来ませんが、母の日にはマニキュア・お化粧品・ヘアブローを本人の好みを聞いて行っています。 | | |
| 40 | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 今はコロナのため、外出は出来ませんが、配膳、下膳など参加していただき、ウナギの時期には、ウナギを食し、夏場はおそばや冷やし中華等の季節ごとの行事食を行なっています。誕生会は職員手作りのケーキでお祝いします。 | 業者食が届けてくれる食材を調理しています。寿司などの行事食の特別注文もあります。利用者一人ひとりの嚙下状態に合わせて、おかゆやペースト食、キザミ食やトロミ食なども提供しています。誕生会では職員手作りのケーキも提供しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 嚥下状態に応じて、ペースト食・トロミ食・きざみ食・ミキサー食、水分量と摂食量のチェック等、24時間にて記入し、記録を残し対応しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後、口腔ケアを行ない、入れ歯の人は夕食後、薬剤で洗浄しています。出来るところまで本人が行ない、出来ないところは職員が介助して、清潔を保持しています。歯科の衛生士が来て、歯の状態・舌ブラシの使い方など、月1度勉強会に参加指導を受けています。 | | |
| 43 | 19 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 排泄表を利用し、一日の経過を記録、その人にあつた排泄パターンを把握し、声掛けにて便座に誘導したり、ポータブルトイレの使用等行っています。また、排泄がうまくいかなかった人はあたたかいお湯で対応しています。 | 排泄が自立できる援助をするよう、一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、仕草や経験からタイミングよく誘導しています。失禁したときの気配りや処理、寒い時期にはうまく排便できない人には綿布を温かくして肌に触れるようしたり、利用者と職員の相互の信頼の上で支援していくよう努めています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 水分、運動、乳製品、服薬、食事などにて、その人に合った対応をしています。 | | |
| 45 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 入浴日のバイタルや体調を見ながら、本人の希望を考慮して、時期の物を湯船に入れたり、入浴拒否の時は職員を変え、手順を変えたり、タイミングを見ながら対応しています。 | 入浴頻度は週2回～3回、最低2回は入浴しています。その日の体調や希望を見ながら順番を決めたり、対話しながらの誘導、清拭など臨機応変に対応しています。基本一人対応とし、会話などの楽しむ工夫もしています。個々の対応により2階の機械浴を利用する人もいます。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 夜間に熟睡できるよう、散歩・買い物はコロナの関係で今は出来ませんが、昼間の活動を多く持ち、ゲームや歌の時間を設けています。体操の時間を長くしたり、体調に応じて昼寝の時間を設け休憩を取ってもらっています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 服薬のファイルお薬一覧表を声を出して読み上げ、毎日ダブルチェック保管利用し、変化が出た時は連絡ノートやお薬ノート、ミニミーテングにて徹底し、症状の変化があれば医師に連絡をとり、相談しています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | その人の得意部分を引き出し、洗濯干し、料理、歌、折り紙、メモ帳作り、工作等、おやつには何を食べたいか聞いて、ホットプレートにて自分で焼いていただいたり、ドクターに聞いて嗜好品の支援をしています。 | | |
| 49 | 21 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 買い物、天気良ければ緑道への散歩、日向ぼっこ、月1度の町内会の集り、車いすの人も歩行出来る人も一緒に出掛け、遠出の時は御家族様や町内会の方が協力して下さっていましたが、今年は新型コロナウイルスのため、外出が出来ず、面会もガラス越しに話をかけていただいています。 | コロナ禍以前は散歩や季節毎の外出、自治会の行事での外出がありましたが、現在は自粛しています。公園の清掃や自治会配布物の受領、貰った花の苗を育てたり、防災訓練後の日向ぼっことなっています。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 利用者様からお小遣いを預っており、スーパーに買い物に出掛けた時、自分の欲しい物を時期を見ながら、冷蔵庫などに名前を書き預っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 電話がかかってきたら、御本人様が電話にてお話しが出来るよう支援しています。お手紙は御本人様にお渡ししています。 | | |
| 52 | 22 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室にはテレビがあり、自分の好きなカレンダーを貼り、個人で作成した折り紙、要望を聞いて、保育園の子供達の作品のプレゼントを貼る人もおり、フロアには温度計・加湿器を置き、掃除の時は換気や消毒をし、湿度にも注意しています。 | 共用部分は明るくなるよう心掛けています。テーブルにはアクリル板を使用し、外部からの新型コロナウイルス侵入に備えています。白い壁には手づくりカレンダーや歌詞、折り紙で作った飾り、注意事項、ハザードマップなど日々の活動紹介を掲示しています。階段横には近隣の保育園児の作品や職員の写真が添えています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 日当の良い所にベンチを置いたり、気の合った人同士が居室を訪問、フロアのテーブルも工夫して、集まれるように配慮しています。 | | |
| 54 | 23 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | テレビ、タンス、仏壇、本など馴染みの物を入居の時持ってきていただき、家族と共に相談しながら工夫しています。 | 居室は法人事業所のある通路側と鳥がさえずる緑道側があり、それぞれ楽しむことができる居室となっています。たんすなどの家具を持ち込み、趣味の作品やなじみのもので個性のある部屋となっています。担当の職員により日々支援された生活が営まれ、各種のセンサーで安全確認も行っています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 居室の入口には、利用者様が分かるよう本人の写真や作品を貼り、バリアフリー、トイレの分からない人には入口に印を付け、手すりなどで自由に行動していただいています。 | | |

| | |
|-------|-------------------|
| 事業所名 | 医療法人啓和会 グループホーム京町 |
| ユニット名 | ひまわり（2F） |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまにある |
| | | | 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | ○ | 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|----------------|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3, 家族の1/3くらいと |
| | | | 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまに |
| | | ○ | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1, 大いに増えている |
| | | | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3, あまり増えていない |
| | | ○ | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 法人の理念に基づき行なっています。理念は各階の入口に提示し、また毎月のミーティングでも確認し、周知徹底を図っています。職員は利用者の尊厳のある日常生活保持するため、言葉づかいに注意をはらっています。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 町内会に加入し、コロナ発生前は月一度の町内行事や夏祭りの神輿、自主防災訓練、食事会、盆踊り、保育園の子供達との交流を行なっていました。町内会の廃品回収、公園掃除は毎月行っています。また、管理者は町内の役員をやらせていただき、情報交換をしています。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | コロナ発生前は、利用者様より食べたい物の注文を聞き、スーパーに買い物に出掛けたり、月一度町内会館にて集まりの時、利用者様と一緒にうかがい、準備をしたり、片づけ等に参加したりしていました。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | コロナ発生前は、2ヶ月に一度の運営推進委員会は、町内会長、常任理事、民生委員、家族の代表、包括支援センターの方より意見やアドバイスをいただき、地域の様子を知る機会となっていました。町内会の人が行事等何か変後がた時はポストに書類等届けて下さいます。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者とは頃頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 川崎市高齢者支援課、地域包括支援センターに相談しています。また、社会福祉協議会の傾聴ボランティアさんが利用者さんの話し相手や相談ののってくれていましたが、新型コロナの関係で今は出来ていません。自主防災訓練の時、町内会・区役所の参加、町内会の皆様による誘導、炊き出し等行なっていました。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。 | 契約書に身体拘束を行わないことを明記し、日中玄関の入口は施錠せず、「身体拘束排除宣言」を玄関と居間に提示しています。職員は身体拘束の弊害と如何にして拘束のない支援を提供するか職員間で検討しています。やむえず拘束の時は家族と相談、捺印をいただき介護記録に記入する。ユニット入口については止むえない時は、家族の了解を得て施錠しています。また、身体拘束などの勉強会を行い、社内にて勉強をしています。 | | |
| 7 | 6 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 個々の職員の意見を把握し、ケアカンファレンスにて情報交換を行ない、入浴時に体のチェックをしています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 弁護士や成年後見人に相談して情報提供、協力や説明をお願いしています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約時・解約時または問題発生時には、御家族様と面談の上、十分な説明を行なっています。 | | |
| 10 | 7 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 玄関入口に意見箱を設置し、訪問時に直接お話しを聞いて解決を図っています。また、納涼祭、クリスマス会に合わせて家族会を開催し、利用者や家族からの意向や要望を聞いています。他に衣類や寝具の切り替え時など、家族の訪問時の話し合いもサービス向上に反映しています。家族会の時に意見を出す機会を設けています。今はコロナの関係で行事等は出来ていません。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 8 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 職員が意見を発言できる機会や個人面談にて話を聞く場所を設けています。月1回のミーティングで業務運営の意見交換をし、毎日朝9時からフロアごとにミニミーティングを開催して引き継ぎを行なっています。この会議の最後にユニットごとに職員が提案した“今月の目標”を全員で唱和して確認し、実践に繋げています。 | | |
| 12 | 9 | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 介護職員処遇改善計画書を掲示し、研修の勉強会への紹介を進めています。また、職員資格取得のため、勉強会等の支援を行なっています。 | | |
| 13 | 10 | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 回覧にて講習会への参加、職場での勉強会、他グループホームへの研修を促し、体験出来るよう進めています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 他のグループホームやデイサービスの力を借り、初詣やレストランの食事会、遠足の遠足会に出掛けたり、協力をお願いし、力を借りていましたが、今、コロナの関係で外出等が出来ていません。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 本人からの訴え、御家族様の希望を傾聴し、安心して生活出来るよう努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 利用者様・御家族様にも、何事も話しやすい雰囲気づくりをしています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 総合的な面で必要と思われた時、他のサービスの紹介・相談に乗っています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 利用者様に人生の先輩の言葉として、分からないことを教えてもらい、良きパートナーとして意識しています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 月一度の写真入りの手紙にて、利用者様の様子をお知らせしています。御家族と交えて行う納涼祭・クリスマス会にて、職員と御家族様との交流をはかり、一緒に劇をしたり、また、お手伝いも進んで協力していただいています。年末のクリスマス会は1年の利用者様の様子をビデオで日頃の様子を見ていただいています。このような行いですが、現在は新型コロナウイルスの関係で滞っています。面会も窓を境にして、お互いに元気な顔を見て安心しております。 | | |
| 20 | 11 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 新型コロナウイルスの関係で外出もままならず、御家族様や友人からのお手紙で絆をつないでもっています。ホーム入居後、時間の経過とともに徐々に馴染みの関係が少なくなっています。年賀状も受け取り、返事は家族に任せて対応してもらうなど継続努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | フロアでは、気の合う人と同じテーブルに座ってもらい、また、孤立しないよう席替えをしたり、昼食も各テーブルに職員が入り、同じ物を食べ、趣味や料理を通して話しが出来るよう、小グループ等レクレーションをしています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 入院によって契約終了後も連絡を取り、お変わりないか様子を伺っています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 12 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 担当スタッフは強い絆が出来ているため、ご本人の意見や訴えをミーティング等で話し合い、情報を共有しています。利用者ごとに担当者を決めています。担当者は本人との会話から、本人の個性や思い、願望などを聞き出すよう心掛けています。その内容はミーティングで話し合い、他の職員の意見も聞いて共有し、家族にもお便りの手紙等で状況を報告しています。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご本人や御家族様により、書面にて好みやつちかったさまざまな生活歴を聞き、談笑中に出た言葉や習慣を継続出来るようにしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | ご本人一人ひとりの体調、精神面を把握して、出来ることに注目し、その人に合った生活をできるようにしております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 13 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 医療関係や御家族様の要望を聞き、ミーティングなどで御利用者様の変化があった時は、スタッフの情報を介護計画の作成や見直しに取り入れています。毎朝、ミニミーティングをしているため、その場で話をして解決できる時は早めに動いている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | バイタル、服薬、食事や水分量、特変など、夜間と昼間との介護記録を色にて区別し、分かりやすい言葉の記録で、面会時介護記録を御家族に見てもらい、介護記録の見直しに活かしています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 個々の支援で訪問マッサージ、訪問歯科、救急、通院対応を行なっています。外出での買い物は、新型コロナウイルスの関係で現在出来ていません。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 区役所・消防署・町内会・包括支援センターとともに自主防災訓練や炊き出し、月一度の町内会館での行事、食事会、地域のボランティアが継続的に来てくれています。 | | |
| 30 | 14 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 24時間医療機関の看護師に相談指示や訪問を受け、利用者様の急変時に対応してもらい、また、ほぼ毎日、午前または午後の往診があり、体調の変化もスムーズに行われ、協力医には診断書・紹介状等で協力をお願いしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | ご本人様の状態に応じて、担当医・看護師に直接相談、24時間オンコールによって、看護師の訪問、医師に連絡をつけることが出来ます。週1回全員訪問看護を受け、介護では出来ない体調の変化を対応・処置等を行っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先の看護師また相談室と情報交換を行ない、早期の退院に向けて相談をしています。 | | |
| 33 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 重症化や終末期については、施設で出来る限りの生活を調整し、医師・看護師・職員・御家族様と話し合い、対応しています。看取りに関する指針を重要事項説明書に明記し、入居時に説明しています。終末期にはターミナルケアの支援方法など話し合いをしています。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 緊急時、急変の連絡体制は、一目でわかるよう掲示して、職員は理解しています。AEDを施設に置き、対応できるようにしている。 | | |
| 35 | 16 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 避難訓練は昼間・夜間の状態を作り出し、消防署の立会にて指導と訓練を行っています。また、地域防災にも参加協力し、運営推進委員会に議題として提出しています。天災の時は地域の皆様で体の不自由な人は一時的の避難場として受け入れ、地域包括支援センターに連絡するようになっています。非常時のペースト食の試食も行なっています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 17 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 利用者様の人格の尊重やプライバシーを損ねない言葉づかい対応を行なっています。個人情報等書類は鍵のかかる書庫に保管しています。居室担当者を中心に利用者の個性を把握し、言葉づかいやさりげない介助に努めています。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 声掛けのあいさつから始まり、本人の性格などを考え、話しやすい環境をつくり出し、今本人が何を希望しているのか傾聴して行動しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 朝の体操の時に、回想法にて話し掛け、食事は何を食べたいかメニューを聞いたり、その日の体調を見ながら、入浴の順番を変えたり、希望を聞いています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 月1度～2度の訪問理美容を利用してカットを行なっています。コロナの関係で今は出来ませんが、母の日にはマニキュア・お化粧品・ヘアブローを本人の好みを聞いて行っています。 | | |
| 40 | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 今はコロナのため、外出は出来ませんが、配膳、下膳など参加していただき、ウナギの時期には、ウナギを食し、夏場はおそばや冷やし中華等の季節ごとの行事食を行なっています。誕生会は職員手作りのケーキでお祝いします。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 嚥下状態に応じて、ペースト食・トロミ食・きざみ食・ミキサー食、水分量と摂食量のチェック等、24時間にて記入し、記録を残し対応しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後、口腔ケアを行ない、入れ歯の人は夕食後、薬剤で洗浄しています。出来るところまで本人が行ない、出来ないところは職員が介助して、清潔を保持しています。歯科の衛生士が来て、歯の状態・舌ブラシの使い方など、月1度勉強会に参加指導を受けています。 | | |
| 43 | 19 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 排泄表を利用し、一日の経過を記録、その人にあつた排泄パターンを把握し、声掛けにて便座に誘導したり、ポータブルトイレの使用等行っています。また、排泄がうまくいかなかった人はあたたかいお湯で対応しています。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 水分、運動、乳製品、服薬、食事などにて、その人に合った対応をしています。 | | |
| 45 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 入浴日のバイタルや体調を見ながら、本人の希望を考慮して、時期の物を湯船に入れたり、入浴拒否の時は職員を変え、手順を変えたり、タイミングを見ながら対応しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 夜間に熟睡できるよう、散歩・買い物はコロナの関係で今は出来ませんが、昼間の活動を多く持ち、ゲームや歌の時間を設けています。体操の時間を長くしたり、体調に応じて昼寝の時間を設け休憩を取ってもらっています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 服薬のファイルお薬一覧表を声を出して読み上げ、毎日ダブルチェック保管利用し、変化が出た時は連絡ノートやお薬ノート、ミニミーテングにて徹底し、症状の変化があれば医師に連絡をとり、相談しています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | その人の得意部分を引き出し、洗濯干し、料理、歌、折り紙、メモ帳作り、工作等、おやつには何を食べたいか聞いて、ホットプレートにて自分で焼いていただいたり、ドクターに聞いて嗜好品の支援をしています。 | | |
| 49 | 21 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 買い物、天気が良ければ緑道への散歩、日向ぼっこ、月1度の町内会の集り、車いすの人も歩行出来る人も一緒に出掛け、遠出の時は御家族様や町内会の方が協力して下さっていましたが、今年は新型コロナウイルスのため、外出が出来ず、面会もガラス越しにお話しをかけていただいています。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 利用者様からお小遣いを預っており、スーパーに買い物に出掛けた時、自分の欲しい物を時期を見ながら、冷蔵庫などに名前を書き預っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 電話がかかってきたら、御本人様が電話にてお話しが出来るよう支援しています。お手紙は御本人様にお渡ししています。 | | |
| 52 | 22 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室にはテレビがあり、自分の好きなカレンダーを貼り、個人で作成した折り紙、要望を聞いて、保育園の子供達の作品のプレゼントを貼る人もおり、フロアには温度計・加湿器を置き、掃除の時は換気や消毒をし、湿度にも注意しています。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 日当の良い所にベンチを置いたり、気の合った人同士が居室を訪問、フロアのテーブルも工夫して、集まれるように配慮しています。 | | |
| 54 | 23 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | テレビ、タンス、仏壇、本など馴染みの物を入居の時持ってきていただき、家族と共に相談しながら工夫しています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 居室の入口には、利用者様が分かるよう本人の写真や作品を貼り、バリアフリー、トイレの分からない人には入口に印を付け、手すりなどで自由に行動していただいています。 | | |

令和4年度

目標達成計画

事業所名 医療法人啓和会 グループホーム京町

作成日： 令和 4 年 11 月 22 日

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|-------------------------|--|--|------------|
| 1 | 35 | 災害対策についてとコロナ対策で外出が出来ない。 | 地域の住民の関係作りを良くして、天災の時の協力作りをすると同時に緑道への散歩を行いはじめました。 | コロナウィルスで月一度の縁側と言う地域の集りに参加出来ないでいる。困った時は、電話でアドバイスをいただいている。この頃、縁側が時々行うため、その時には職員と利用者で短い時間で参加をしたい。 | 3 ヶ月 |
| 2 | | | | | ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |